



## 3年ぶりの……

過去2年、コロナ禍とのことで、さまざまな取組が中止に追いやられてきましたが、昨今は WITH コロナの考えの下、取組を再開する動きになっています。

そんな中、1月に入り、3年ぶりに開催された取組がふたつあったので以下にご紹介します。

## ☆あさなえヘルシープラン

「食」や「体力」に関する意識の高揚を図る目的で実施されている「体力づくり部会」の基本プラン

1月18日(水)の放課後に、浅江コミュニティセンターで開催されました。食推さんの並々ならぬ支援をいただき、感染予防対策を万全にして実施しました。まだ会食を行うまでのハードルはあるため、その場で食べずに、衛生的に実施できる「味噌づくり」を行いました。

コロナ禍となり、学校での調理実習も実施できない状況が続いている



こともあり、参加した16名の生徒は、とても楽しく作業をしていました。今回つくった味噌は、家庭に持ち帰り熟成させ、食べ頃になるのは、ゴールデンウィーク頃とのことです。

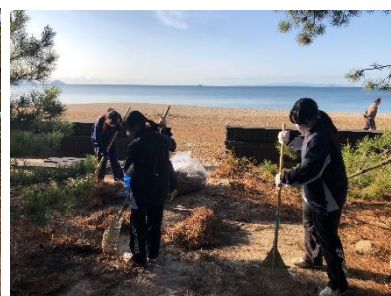
## ☆虹ヶ浜海岸松林保全ボランティア

ふるさとの名所である虹ヶ浜海岸の保全活動を通して、郷土愛の心を培うとともに、ボランティア精神の高揚を図る「心の教育部会」の基本プラン

1月22日(日)の午前中に、虹ヶ浜海岸の松林の清掃を行いました。この活動において学校では、「新しい地域貢献の視点」をもって事前準備等を進めてきました(学校通信 NO-26 でご紹介しています)。

当日は、「浅江の宝の松林を守りたい」との思いをもった子どもたちが130名以上集まり、地域の方とともに、松林に落ちている枯れ葉や枝を取り除く作業を行いました。

作業開始後、みるみるうちに地面の葉や枝はなり、あっという間に松林にとってよい環境になりました。子どもたちの活動の様子を見ていた地域の方は、「子どもたちの作業への積極性、働きぶりはこれまで以上だ。」と言って、感心しておられました。



この取組は、休日の地域行事です。実施にあたっては、地域の方から「地域の行事だから当日の子どもたちの管理や指導は地域に任せて!!」とお願いしています。

実際、当日は、交通安全の見守りや駐輪場の整理、生徒の集合等すべて地域の方が行っておられました。